

題材 「 曲想を味わう威風堂々 」 4時間中の第3時

(1) 学習のねらい

前時で初めて威風堂々を5パート一緒に鍵盤ハーモニカで演奏し、全体で合わせるとテンポや音を合わせることができないと感じた子どもたちが、モニターに映る電子メトロノームの音や映像に合わせることを通して、拍をとることで周りの友達と合わせることができると気づき、全体で合わせて演奏できる楽しさを感じることができる。

(2) 本時の学習材

電子メトロノーム

- 前時、子どもたちは初めて威風堂々を5パート全体で合わせ、別のパートと合わせることの難しさを感じた。そこで、「どうしたらみんなで合わせて演奏できるだろう」と考えるだろう。このような意識を捉えて、本学習材を提示する。
- 本学習材は、聴覚的にも、視覚的にも拍を感じることでできる電子メトロノームである。子どもたちは前時で一人ひとりのテンポが違うことを感じているだろう。全体で合わせる第一歩として電子メトロノームで視覚的にも聴覚的にも拍を感じ、友達と合うという楽しさを感じることが期待できる。

(3) 学習の展開

| 過程 | 学習活動 | 予想される子どもの動き | 時間 | 指導と評価 |
|------|--------------------------|--|-----|---|
| 課題把握 | 1パートごとに個人的に練習する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1番、2番括弧がない楽譜の方がいいな。 ・何回吹いても音を間違えちゃう。 ・できたから別のパートも練習しようかな。 | 20' | <ul style="list-style-type: none"> ○前時でできた子に対しては他のパートも練習してみるよう促す。 ○1番、2番括弧のない読みやすい楽譜を用意しておくことで苦手な子も取り組みやすくする。 |
| | 2全体で合わせてみる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○大体ふけるようになった！嬉しい！ ・全然合わない！ ・他のパートの音で自分の音が聞こえない。 ・みんなテンポがバラバラ！ ○どうしたらみんなで合わせて吹けるの？ <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">学習問題</p> <p>どうしたらみんなで合わせて演奏できるだろう。</p> </div> | 5' | |
| 展開 | 3電子メトロノームについて知り、全体で合わせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どのタイミングで鍵盤を押せばいいの？ ・1拍が四分音符1つ分なんだね。 ○テンポがあると合わせやすいね。 ○画面を見たらテンポが分かる。 | 15' | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>学習材</p> <p>電子メトロノーム</p> </div> <p style="text-align: center;">評価</p> <p>電子メトロノームの音や映像に合わせることを通して、拍をとることで周りの友達と合わせることができると気づき、全体で合わせて演奏できる楽しさを感じることができる。</p> |
| | 4新たな課題を見つける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・もっと強弱付けたい。 ・パート分けをもっと考えたい。 ○もっと合うように個別でチームを作って練習したい。 | 5' | |

学習課題
電子メトロノームに合わせてみんなで演奏してみよう